



K.Miura

## THE SANKEI SPORTS SHO FLORA STAKES

## 第60回 サンケイスポーツ賞 フローラステークス (GII)

1着 本賞 52,000,000円 付加賞 1,260,000円  
2着 21,000,000円 360,000円  
3着 13,000,000円 180,000円  
4着 7,800,000円  
5着 5,200,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牝、3歳  
負担重量 馬齢重量

2025.4.27 東京 晴・良 芝2000m (国際) (指定)

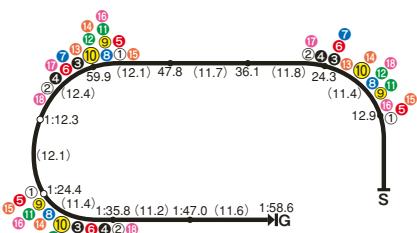
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
						通過順位	(着差)	通過順位 (600m)	(増減)				
1	⑩	カムニヤック	牝3	55	A.シタルケ	1:58.6	8-9-9	33.4	470(-12)	14.7⑦	友道康夫(栗東)	106	
2	⑫	ヴァルキリーバース	牝3	55	C.ルメール	1:58.6	10-9-9	33.6	444(+4)	3.1①	田中博康(美浦)	103	
3	⑤	タイセイブランセス	牝3	55	石橋 梢	1:58.6	16-16-16	33.0	406(±0)	304.0⑩	池上昌和(美浦)	103	
4	⑯	エストゥベンダ	牝3	55	三浦皇成	1:58.6	10-1-1	34.5	442(±0)	7.8④	高柳瑞樹(美浦)	102	
5	①	タガノアビー	牝3	55	藤岡祐介	1:58.6	16-16-16	33.3	496(+4)	80.9⑫	千田輝彦(栗東)	102	
6	②	ロートホルン	牝3	55	横山武史	1:58.6	1-2-2	34.6	460(-2)	12.8⑥	加藤征弘(美浦)	102	
7	⑯	ルクスジニア	牝3	55	池添謙一	1:58.6	7-7-7	34.1	432(-2)	16.2⑨	平田 修(栗東)	102	
8	⑧	マーゴットレジーナ	牝3	55	北村宏司	1:58.6	10-12-11	33.8	430(-2)	128.6⑨	小林真也(栗東)	102	
9	⑯	ロンドボス	牝3	55	西塚洸二	1:58.6	16-18-16	33.4	446(±0)	251.2⑦	藤原英昭(栗東)	102	
10	⑯	ハギノニアチャーレ	牝3	55	藤懸貴志	1:58.6	2-3-3	34.5	466(+4)	86.0⑩	高野友和(栗東)	102	
11	③	ドーギッド	牝3	55	吉田 豊	1:58.6	4-7-7	34.2	456(-6)	131.7⑩	矢作芳人(栗東)	102	
12	⑪	ホウオウタイタン	牝3	55	佐々木大輔	1:58.6	13-12-13	33.8	504(±0)	103.0⑩	須貝尚介(栗東)	102	
13	⑦	ブラックルビー	牝3	55	戸崎圭太	1:58.6	4-5-5	34.6	424(+4)	5.7②	田中博康(美浦)	102	
14	④	エンジエルブリーズ	牝3	55	横山典弘	1:58.6	3-3-3	34.9	454(±0)	11.9⑤	中嶋英二(美浦)	102	
15	⑥	ティラトーレ	牝3	55	木崎巧也	1:58.6	4-5-5	34.8	486(±0)	15.8⑧	牧 光二(美浦)	102	
16	⑨	コーソーファー	牝3	55	津村明秀	1:58.6	13-12-13	34.2	458(-4)	6.5③	手塚貴久(美浦)	102	
17	⑩	ロジャリーマイン	牝3	55	菅原明良	1:58.6	15-12-13	34.4	432(+10)	21.0⑩	久保田貴士(美浦)	102	
18	⑯	マイスター・ウェルク	牝3	55	杉原誠人	1:58.6	8-9-11	34.7	508(+10)	64.4①	勢司和浩(美浦)	102	

単勝⑩1,470円(7%)\* 優勝⑩380円(5%)\* ⑫170円(1%)\* ⑥4,200円(18%)\* 枝連⑤-⑥690円(1%)\*

馬連⑩⑫12,690円(10%)\* ワイド⑩-⑫1,040円(9%)\* ⑤-⑩44,460円(136%)\* ⑥-⑩14,760円(89%)\*

馬単⑩-⑫7,140円(24%)\* 3連複⑤-⑩-⑫224,360円(370%)\* 3連単⑩-⑫-⑩1,100,180円(1,870%)\*

5重勝⑩⑫185,280円(3票) 対象競走: 京都10R/東京10R/福島11R/京都11R/東京11R



通過タイム : 600m 800m 1000m  
上り : 36.1 - 47.8 - 59.9 上り : 800m 600m

### アラカルト

- A.シタルケ騎手はフローラS初勝利。JRA重賞は17年ニュージーランドトロフィーに続く通算5勝目
- 友道康夫調教師はシングルウィズジョイで制した15年に続くフローラS2勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算73勝目
- ブラックタイド産駒はJRA重賞通算19勝目
- 勝ちタイム1:58.6は20年ウインマリリンが記録した1:58.7を0秒1更新するレースレコード
- ワイド44,460円は同式別における本競走の最高払戻金額
- 非当選馬 3頭(エンジェルマーク、グローリーリング、ピコローズ)
- カムニヤック、ヴァルキリーバースはオーケス(G I)に優先出走できる

# カムニヤック *Kamunyak*

牝 鹿毛 2022.4.14生  
北海道千歳市 杜台ファーム生産  
馬主・金子真人ホールディングス(株) 栗東・友道康夫厩舎  
馬名意味・祝福された者(サンブル語)

		ダンシングキイUSA系 F	
ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo	
	ウインドインハーアIRE 鹿毛 1991	Wishing Well	
		Alzao	
		Burghclere	
ダンスマリーガ 栗毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー	
		サクラハゴロモ	
	ダンスオールナイト 鹿毛 2003	エルコンドルバサ-USA	
		ダンスパートナー	

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA S2×M4  
Northern Dancer S5×M5

## INTERVIEW

### 申用守主任(社会アート・イニシアチブ)

早い時期からレベルの高さを見せていました

放牧中は問題ないのですが、少しでも厩舎に置いておく時間が長くなると私の強さを出してきて大変でした。動かしてみると首の使い方が柔軟で、比較的早い時期からレベルの高さを見せていきました。初戦後は暑さによるダメージ回復に時間がかかりましたが、今回は復調気配と聞いていましたのでいいレースを見せててくれてほっとしました。オーナー様も期待しています。

## 父ブラックタイド

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央22戦3勝(スプリングS GⅡ、若駒S GⅢ、きさらぎ賞GⅢ、中山金杯GⅢ)、09年から供用

〔代表産馬〕キタサンブラック(ジャパンC<sub>II</sub>、菊花賞<sub>II</sub>、天皇賞(春)<sub>II</sub> 2回、天皇賞(秋)<sub>II</sub> 1回、有馬記念<sub>II</sub>、大阪杯<sub>II</sub>、年度代表馬2回)、カムニャック(本馬)、タガノエスプレッソ(デイリー杯2歳S<sub>II</sub>、京都ハイジャンプJ<sub>II</sub>、京都ジャンプS<sub>II</sub>、J-C<sub>III</sub>、阪神ジャンプS<sub>II</sub>、J-C<sub>III</sub>)、ティエムイナズマ(デイリー杯2歳S<sub>II</sub>)、マイネルフロスト(毎日杯G<sub>III</sub>、日本ダービーG<sub>II</sub> 3着)、フェーングロッテン(ラジオNIKKEI賞G<sub>III</sub>)、ライジンググリーンズ(フェアリーS<sub>II</sub>)、ディープダイバー(橘S・L)

## 母ダンスアミーガ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央26戦5勝(仲秋S、長岡S、五頭連峰特別、ターコイズS(重賞)2着)

ミリタリータンゴ(18 牝父エインフラッシュ)中央10戦1勝、障害10戦0勝  
ラウルピドウ(19 牝父ハービンジャーGB)中央26戦2勝  
ラバタンシン(20 牝父エビファネイア)中央19戦0勝、障害1戦0勝、地方1勝  
1. 1984.05.26

10戦10勝  
キーバルクム(21 牡父ロードカナロア)中央14戦4勝(キセキC、木更津特別、ひめさゆり賞、ダービー卿チャレンジトロフィー⑥3着、リゲルS・L3着、若葉S・L3着)⑧

**カムニヤック** 本馬 (22 牝父ブラックタイド) 中央4戦2勝(フローラS GII)

獲得總賞金63,460,000円

### プレイザリード(23 牡父キズナ)

(24 流產)

(25 牝父エピファネイア

## 祖母ダンスオールナイト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(初音S、中山牝馬S GⅢ3着)、16年死亡

### ダンスアミーガ(11 前出)

ヨカグラ(13 駒父ハービンジャーGB)中央1勝、障害4勝(小倉サマージャンプJ・GⅢ、東京ハイジャンプJ・GⅡ2着)

### 曾祖母ダンスパートナー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央4勝(オーケスG1、エリザベス女王杯G1、京阪杯G3、桜花賞G12着、エリザベス女王杯G12着)、香、仏O勝(ネット賞・仏G32着)、最優秀3歳牝馬、最優秀4歳以上牝馬、14年用途変更、**フェデラリスト**(中京G1、種牡馬)、**ロンギングダンサー**(新潟記念G33着、種牡馬)の母

プラツクタクタイド産駒の本馬は昨年8月の新馬戦(中京・其の2000m)を完勝し、続くアルテミスSでは1番人気の支持を集めめた好素材。初挑戦の重賞で6着に敗れた後、態勢を立て直され臨んだエルフィンSも4着に終わつたが、初陣と同じ2000mの距離で本領を発揮し、鮮やかに巻き返した。3代母はオーケス馬ダンスパートナー。従来のレースレコードを0秒1更新し、この日の走りからも、本番ではさらなる躍進に期待が膨らむ。

重賞好走歴を持つ実績馬と勢いに優る新興勢力が一堂に会し、混戦ムードに包まれたフローラS。ファンの評価も割れたなか、未勝利戦、1勝クラス特別を連勝中のヴァルキリーバースが頭ひとつ抜けた支持を集め、2戦2勝のブラックルビーが2番人気、フラワーキーの3着馬ゴーソーファーが3番人気。気に続いた。そんなレースを制したのは7番人気のカムニャック。「16分の13」の抽選をクリアして出走にこぎつけた1勝馬が、血統的にもゆかりが深いオーネス行きの切符を掴み取った。

内枠から好スタートを切り、軽快に飛び出したロートホルンは他馬に並ばれても譲らずに先手を主張したものの

向正面半ばで一気に進出したエストゥペンドアがこれをかわし、主導権を奪取。ブラックルビーは好位の一角、カムニヤックのA・シュタルケ騎手は中団馬群の真っ只中で折り合いをつける。ヴァルキリー・ベースはそのまま直後を追走。スタートで少し立ち遅れた「ゴーソーフター」もすぐにポジションを回復し、1番人気馬の背後で脚を溜めた。

先頭に立つてからは息が入り、比較的落ち着いたラップを刻んで逃げたエストゥペンドアは直線に向くと再び加速。後続を突き放して見せ場をつくったが、坂を駆け上がってから脚色が鈍ったところへ、差しに構えていた面々が一斉に襲い掛かる。なかでも馬場の真ん中へ進路を取ったカムニヤックは息の長い末脚を發揮。逃げ馬をかわして先頭へ抜け出し、ヴァルキリー・ベース以下の反撃も寄せ付けずに悠々とゴールを駆け抜けた。